

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	○	法人の紹介紙やパンフレット、ホームページを通して理念等のアピールをしていきます。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		

グループホームさくらんぼ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>母体が医療法人であり地域へは「介護教室」を主催していますので当グループホーム職員も担当を決め、お手伝いをししてPRをしています。</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>昨年、一昨年の評価後、少しずつではあるが具体的に改善し、取り組んでいます。</p>	○	<p>鉄筋のビル様式の建物ではあるが、1F玄関にプランターを置いたり、手描きの看板をかけたたり少しでも暖かみを持てるよう工夫しています。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>御家族から認知症に有効なBGMを希望されたことがありますが、演歌、童謡、民謡に加えクラシック音楽等、種類を増やすと共に合唱の時間、ラジオ体操や指体操の時間を機嫌や体調に合わせて日々、取り組んでいます。</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>疑問や質問がある場合は主に事務長を通してではありますが、市の担当職員の方に何うようになっています。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>法人で勉強会がある時は参加し、又、市や府で開催される権利擁護等の研修に努めて参加しています。</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>法人内の委員活動のうち身体拘束防止委員として勉強会に参加、また日々の業務上、お互いに言葉や態度を含めて注意しあうよう努めています。</p>		

グループホームさくらんぼ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>基本的に入居前の契約時は事務長、施設長が対応しているが、入居後も入居者や家族等の不安、疑問があれば職員一同、事務長、施設長へ報告の上、説明しています。又、市や府への連絡方法も壁面に掲示しています。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居者参加の運営推進会議を設けていますが、日常生活において出される意見、例えば「お寿司が食べたい」「暖かくなったら花見に行きたい」等は行事計画に反映させるよう努めています。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>当施設では御家族面会が多く、面会のたびに日頃の様子や健康状態を話しています。又「さくらんぼだより」という家族向けの新聞を作成し、年2回の家族会でも報告したり要望を聞けるよう努めています。お小遣い等の預かり金はノートに記載し面会時に確認し、サインをもらうようにしています。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>普段より意見を聞くよう努めています。大阪市や府、国民保健団体連合会等の連絡方法も掲示しています。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>施設長は毎月の詰所会やミーティング等、常に関心をもち、職員の要望、意見を把握し反映に努めています。又、入居者の体調、状態を管理日誌等を通じて常に理解しています。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>正職員で主に早出、日勤、遅出、夜勤入り、明けを設け、その他にパート雇用にて日常の業務に支障がないよう配慮しています。また行事等には人数確保できるよう調整している。</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>入居者に対し担当制を敷いているので、できるだけ支障がないよう、入居者、家族へ説明し、引継ぎするよう努めています。</p>	

グループホームさくらんぼ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新入職員にはプリセプター制度を設け、職員の経験や力量に応じて必要な内外研修が受けられる様な体制を作っています。医療法人がヘルパー2級講座も運営し資格取得できるようになっています。</p>	<p>職員研修は月1回の法人内研修会をはじめ積極的に取り組んでおり、様々な外部研修にも参加しています。外部研修参加者は、時間があれば伝達を行っています。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>ネットワークづくりや勉強会、相互研修等にも進んで参加し職員個々が技術や工夫を身につけ、サービスの質のレベルUPに努力しています。</p>	<p>ケアの直接的な向上に活かしていける様、研修の報告会や話し合いの機会をカンファレンス時に設けています。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員同士又はリーダー、管理者と話し合ったり、歓送迎会等、外での飲み会をしてストレス軽減をはかっています。</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>職員の勤務状況は日々の勤務実施表により、内外研修は研修レポート提出により把握が出来るようにしています。又、院内発表や病院学会の発表等、職員が相互に協力し向上心を持ち、前向きに働ける様に努めています。</p>	<p>年1回の院内発表や、2年に1回の病院学会の発表には進んで参加し職員がお互いに意見を出し合い協力しています。昨年は、学会発表で「優秀賞」をもらっています。</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>本人の生活歴や趣味に関する情報を、本人や家族から聞き取り、グループホームでの生活への不安や要望などを伺い、自分らしく生きていく事の支援が出来る様に努力をしています。</p>	<p>○</p> <p>本人や家族から聞き取り、充実したアセスメントを行って、不安の解消・要望を伺い、自分らしく楽しみを持ち暮らしていける様に取り組んでいます。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>家族が気がかりな事や意見、希望を職員に気軽に伝えたり相談出来るように面会時に声かけや定期的な連絡等を行っています。(「たより」の発行や行事、ビデオの上映、写真の送付等)</p>	<p>○</p> <p>家族には入居者の安全や健康、医療について面会時だけでなく電話での報告をしています。また行事計画や行事写真を載せた「さくらんぼ便り」を送付しています。</p>

グループホームさくらんぼ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族が希望や意見を気軽に相談出来るよう、又、必要としている支援を見極め対応しています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学時に施設全体や入居者や職員の様子等を見学してもらい、安心して入居して頂ける様に質問や相談にも対応しています。又、在宅での生活を家族からの情報を出来るだけ取り入れています。	○	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の趣味や以前の経験を暮しの中に活かし、その人の力を発揮してもらえる様に、又、喜怒哀楽が出せる様に一人ひとりに合わせたコミュニケーション作りをし、常に声かけ寄り添い、信頼関係を築けるよう努力しています。	○	
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族が、いつでも気軽に面会や相談が出来る様な環境を作り、本人と共に支えるという関係を築ける様に努力しています。	○	いつでも気軽に相談出来るように御意見箱を設けたり、職員も何でも話が出来様な雰囲気づくりをしています。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	これまでの本人と家族とのつながりを深めていける様、又、ホームでの活動に参加できる様な場面や機会をつくり、より良い関係が続くように支援しています。	○	家族にはホームでの活動、年間行事など(遠足・食事会・お花見・流しそうめん・クリスマス会等)本人とのつながりを深めていける様に参加してもらっています。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が以前の暮らしの中で馴染みにし大切にされていた物などを持って来てもらったり、思い出の場所とかお墓参りなど、それぞれの希望にあわせ外出・外泊してもらっています。	○	
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	それぞれの生活環境や性格などを把握し、トラブルや孤立しない様に、さりげなく間に入り利用者同士の関係がうまくいく様、声かけをし笑顔が戻るよう、配慮しています。	○	

グループホームさくらんぼ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	長期入院後、退所された場合でも、お見舞いに訪院しています。死亡された御家族には時折、電話で近況を伺っています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの生活歴、好みや習慣、考え方等を把握し本人の希望や意向をくみ取れる様に努力しています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前にアセスメントや家族や本人から生活歴や生活環境などの聞き取りを行い、日々のコミュニケーションの中から、これまでの生活状況を把握し、個々に合った生活ができるようにしています。		日常生活の中でコミュニケーションを図り、出来る事、出来ない事を把握し、役割、出番を作り出せる様、努力しています。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	職員一人ひとりが入居者それぞれの心身状態などを把握し、日常生活の中で一人ひとりにあわせたコミュニケーションを周知し支援をしています。		一人ひとりが楽しみ事や出番を見い出せる様、自分らしく張りのある日常生活を送れる様、支援しています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日常生活の中でコミュニケーションを多くとり、本人、家族、職員と一緒に話し合い、意見やアイデアを反映した介護計画作りに努力しています。		今後は本人、家族、職員と一緒に話し合っ出来る事、好きな事を把握し、自分らしく暮らし続けられる事を支援したい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居者一人ひとりに沿った、きめ細かい介護計画書を作成し本人の状態や希望の変化に応じて見直しを行っています。見直しの内容や結果は書類に残しています。又、御家族には説明し捺印をもらっています。	○	介護計画は家族と相談しながら作成し、家族の同意のサインを得ている。

グループホームさくらんぼ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一部センター方式を取り入れた個別記録へ記入し、個別の生活習慣を把握し、入居者、御家族の要望等を記録に残しています。	○	個別の生活習慣、要望をもとにカンファレンス等で話し合い、出来る限り一人ひとりの要望に沿った介護計画を計画し、実践していきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人・家族の状況、希望に応じて併設の名取病院と医療連携を取り、受診・往診の対応を行っています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	本人・家族の希望に応じて民生委員等と協力しながら、地域活動への参加が出来るように支援しています。		本人の意向に沿い、より多くの地域資源を活用し、本人がより良く暮らし続ける様に支援していきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の意向により、近隣のデイサービスと連携をとり、時々訪問している。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	2ヶ月に1回、運営推進委員会に参加して頂き、情報交換しアドバイスをもらっています。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	併設の名取病院の専門医にて受診・往診等により対応していますが、本人・家族の意向により、他の病院受診希望の際は職員代行または必要に応じて家族に応じて家族に同行受診して頂いている。		

グループホームさくらんぼ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		<p>当施設は本人と家族の意向があれば看取りをするようスタッフ一同、周知しています。平成18年には2名入居者の看取りをしました。</p>
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	毎日の申し送り、又はカンファレンス、ミーティングの際に一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねることのない言葉かけや対応について話し合いを持っています。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の希望や思いを出せる様な環境づくりや声かけなどを行い、個々に合った自己決定ができるよう対応し、その人らしい暮らしを続ける様に支援しています。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペース状態や希望に沿った毎日の暮らしが出来るように、その都度職員が話し合いを持ち、入居者の思いに沿う様に柔軟に対応しています。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人の希望に沿い、その人らしい身だしなみ、おしゃれができる様、支援しています。理容・美容は本人、家族の意向に沿う様に個々に対応しています。	○ 出来る範囲、本人が選んだ服を着てもらっている。理容については外部より来てもらい施設で行っている。時々、お化粧をしたり、マニキュア塗ったりしています。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	近隣のお店へ職員同行のもと、一緒に買い物に行き、一人ひとりの力を活かし、一緒に準備、調理、片付けを行い楽しんで食事が出来るよう支援しています。	○ 元主婦や調理師を25年されていた入居者がおられるので盛り付けやお米とぎ、味付け、お茶を入れたり、後片付けと声かけをし一緒に行っています。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人が望む嗜好物を一人ひとりの状況に合わせて提供しています。また場合により家族より情報提供して頂き、日常的に毎日が楽しく、その人らしい暮らしが出来る様に支援しています。	ビールやお酒は状況に合わせて、飲んでもらっています。

グループホームさくらんぼ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人ひとりの状態に合わせ、昼夜を使い分け、昼はパンツ、夜はパット使用等で対応しています。日中はオムツの使用をできるだけしないようにトイレ誘導をしています。	○	トイレ誘導は言葉での訴えだけではなく、一人ひとりの仕草なども把握したうえで行っています。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望に合わせ、入浴回数を決めて頂ける様、人員体制や入浴時間を工夫しています。入浴を拒む人に対してチームプレイや言葉かけ等、納得し気持ちよく入浴して頂ける様、取り組んでいます。	○	できるだけ同性の職員が対応しています。本人の好みの湯温で気持ち良く入って頂ける様、心がけています。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	記録等で一人ひとりの睡眠パターンを把握しています。日中は散歩に出かけたり、歩行練習やレクリエーションを行い、生活リズムづくりを意識的に行っています。	○	眠れない入居者には職員が付き添い、話を聞いたり、お茶やお菓子を一緒に食べたり工夫しています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴や好きな事を一人ひとりに合わせ、老健のデイケアで将棋をしたり貼り絵、植木等を楽しんでいただいています。併設の老人保健施設が行っている季節のイベントにも参加し、気分転換をはかり楽しんで頂いています。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理が可能な方には財布を持ってもらっています。隣接している病院内の喫茶店に行ったり、スーパーへ買い物に出かけ好みの飲食をした後、支払いをされています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	調理実習や、おやつのお買い出しに行っています。天気の良い日は隣接している病院の屋上庭園や公園に出かけます。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	買い物ツアーや遠足等を企画し、家族の参加を呼びかけ、つながりを作って頂ける様に機会をつくっています。		

グループホームさくらんぼ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族等からの手紙や電話を歓迎しています。又、届いた手紙はしばらくの間、お部屋に飾り、何度でも読めるようにしています。		季節に合わせた絵はがきを作成し、大切な人に送れるようとりこんでいきたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間は決まっていますが、いつでも気楽に来やすい雰囲気を作っています。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束によって受ける身体的、精神的弊害について理解し拘束のないケアを目指しています。又、安全確保等、緊急かつ、やむを得ない事情で何らかの拘束が行われる場合、その理由、方法期間を明記し、家族等へ説明し、同意書ももらっています。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は居室に誰一人、鍵をかけることなく過ごされている事が多い。危険なので玄関、出入り口、エレベーターの施錠を行っています。	○	玄関の施錠の解決を考えていきたい。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	記録等をつける際も職員室にはこもらず、入居者の動きが見える場(ダイルーム)でつけています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	調理実習や、毎日の一品作りで包丁等を使われるが、使用後は施錠のかかる場所に保管しています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	勉強会に参加し知識を深めています。服薬については一人ひとり手渡し、服用の確認を行っています。	○	消防訓練を年2回、夜間を想定して実施しています。

グループホームさくらんぼ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変や事故発生時には施設長や病院と連携をとり、応急対応に取り組んでいます。応急手当については看護師からの指導を受けている部分や院内勉強会に参加し勉強をしています。	○	
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	入居者が避難できる方法を職員同士で常に話し合っています。火災時については年2回他施設、病院協力のもと、消防訓練を行っています。		地震や水害時の訓練も行っていきたい。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族面会時には最近の状態を施設長又はリーダーにより説明し、リスクについては家族は良く理解しています。	○	
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	常に入居者の体調の変化や異変に気をつけている。気付いた時には、施設リーダー(看護師)施設長、スタッフに報告し、状態によっては病院受診しています。	○	
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の目的や副作用については理解していますが症状に変化があり、わからない時は施設長やリーダーの看護師に聞いています。		服薬時は「薬剤情報提供書」を見て副作用も必ず目を通し、理解しています。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の予防と対応のために常に身体を動かしたり、飲食物の工夫を行っています。(毎日、排泄のチェックをして調整をしています。)	○	
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後の歯磨きや、うがい等、その人に合わせ声かけをし、清潔を保持出来るよう、支援しています。	○	

グループホームさくらんぼ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスは栄養士により計算されたものを摂取しています。、食事量、水分量はスタッフが声かけや時間をおき摂取してもらっています。	○	1日1400～1600kcalとしています。水分量は毎日チェックしています。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザは毎年、予防接種を行っています。ノロウイルスは以前、感染者が出た為、早めに環境整備の消毒薬を変え対応し、他部署などの発生時は外出をしないなどし、マニュアル通り行っています。		1日1回消毒等で清拭(ベッド柵、手摺り、トイレ、ドアノブ)病院併設なので感染対策等はマニュアル通り実施しています。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材の管理や衛生管理には気をつけています。併設の病院厨房より、新鮮な食材で調理した食事が運ばれグループホームで盛り付けと味の調整をしています。	○	賞味期限は特に注意しています。生物(野菜)は夏場は湯通しして使用しています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前には花を置き、施設の入口のドアに手作りの看板をつけたり、色をつけ道路から見てすぐわかる様にしています。地域の方が、いつでも入れるような環境づくりにしています。	○	
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には花を置き、廊下には入居者の作品の壁画などを飾り、トイレ、台所、浴室の入口にはカーテンをかけた、花を飾ったりし、時には季節の物を飾ったりしています。	○	
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	施設内が狭い為、3F・4Fで9名のユニット対応になっていますが、皆が集まる階には大きなテレビやソファを置き、個々に過ごせる様、工夫をしています。	○	

グループホームさくらんぼ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の居室には家族に、以前、自宅で使用していた物や馴染みのある物、家族の写真などを持ってきてもらっています。 当施設は開設時より地域的な背景を考慮し、すべて居室にはベッド・机・椅子等をセットしております。	○	
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	気になるにおいは各居室、トイレなどに、お部屋の芳香剤などを置き、常に換気も行っています。 エアコンがあり温度調節を行っています。	○	
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ローカやリビング、トイレ、浴室に手摺りをつけ、床は全面バリアフリーにし安全に配慮しています。	○	居室や入居者が使用する場所には手作りのカーテン等でわかりやすく工夫しています。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	さりげない声かけや誘導により、不安や混乱がなく一人ひとりの力を活かし自立して暮らせるように工夫をしています。	○	手作りのカーテンに大きく文字を入れるなど工夫しています。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関に花を置き、毎日の水やりや散歩などを行い楽しんで活動できるよう、支援しています。	○	

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

グループホームさくらんぼ

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
			②少しずつ増えている
		○	③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

当施設は、母体が病院で併設の為、24時間体制をとっていますので、医療度の高い入居者を、お預かりしています。本人・御家族より「入居してよかった」と思っていただけのような施設づくりをし、職員一同、看取りまで寄り添っていきたいという気持ちで業務に携わっています。